

令和7年度 第5回青森県特別支援学校スポーツ大会
「オンラインチャレンジボッチャ競技」実施要項

- 1 日 時 令和7年7月10日（木）
接続確認 9：30～
開始時刻 10：00～（競技時間は参加状況により決定する。）
- 2 会 場 エントリー生徒在籍校体育館 他（運営するオンライン専門部はマエダ・アリーナより配信）
- 3 競技内容 団体戦 八角的を使用し、合計点数を競う。チーム数により、対戦方式を決定する。

4 競技規則

（1）エントリー対象

- ・特別支援学校に在籍する中学部・高等部生徒のうち、メイン会場での参加実施が困難である生徒を対象とする。
- ・1校につき2チーム（1チーム5人まで）のエントリーが可能。5名に満たない場合は、同一選手が複数投球を行うことができる。ただし、1名の場合はエントリーできない。

（2）競技ルール

① 選手

- ・投球時、スローイングラインに体の一部や車いす等のタイヤが触れてはならない。投げた手がライン上空を越える等はよい。
- ・投球時、ランプの先はスローイングラインより前に出てはならない。
- ・投球時、臀部が車いす等のシートから離れてはならない。

② スポーツアシスタント（職員）

- ・車いす等使用者のうち、移動したり、方向を変えたりすることが機能的に困難な選手及びランプを使用する選手1名につき、スポーツアシスタントは2名まで認められる。
- ・選手の位置調整、いす位置調整、ボール手渡し、ランプ位置調整、ボール回収等ができる。ただし、1名はランプの調整等をし、もう1名は選手の支援をすることとする。
- ・スローイングラインから出ることはできない。
- ・選手への戦略的アドバイスを送ることはできるが、スポーツアシスタント同士でコミュニケーションをとってはならない。
- ・ランプ位置を調整するスポーツアシスタントは、競技中はプレイングエリアを振り返ることはできない。

③ 競技方法及び得点

- ・チームで持ち球10球とし、1人2球以上連続して投球する。
- ・2メートルの位置から、投げる・転がす・蹴る等して得点を競う。
- ・得点は審判が真上から見て判定し、八角的の中心から3点2点1点とし、八角的から外れた場合は0点とする。各得点エリアに少しでもかかっていたら大きい方の得点とする。
- ・持ち玉全てを投球し終えた時点での合計得点を競う。
- ・八角的まで届かなかったボールは、それ以後の投球の妨げにならないよう平行移動させておく。
- ・ボールは全て投球し終えて、得点が確定後に回収する。

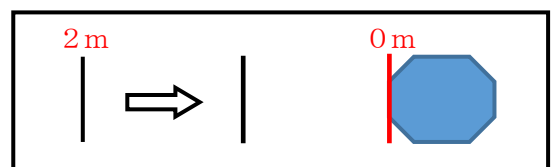
④ コート

- ・右図のコートを使用する。

⑤ 使用ボールは、各校にあるものを使用する。

⑥ ランプは、各校にあるものを使用する。

また、自作の物を使用してもよいこととする。



(3) オンライン競技をする上での留意点

- ・運営はオンライン専門部で行う。
- ・スタートの合図後に投球する。5球目が終了時点で中間発表を行う。(次の選手と交代し、以後最後の投球者まで繰り返す。)
- ・全てのボールを投球し終えたら相手チームが終了するまで待機し、両チーム終了後に合計得点発表を行う。
- ・各校タブレットを準備し、画面に八角的とプレイヤーが映るようにする。
※プライバシーへの配慮を希望する場合は除く。
- ・得点は各校で計算する。その際、得点板等を使用し、得点が分かるようにする。
- ・もしも上位3校に同点があった場合は、同点校同士で1人代表選手を出し、1球投球しあって得点の高いチームを上位とする。(決まるまで1球追加を繰り返し)

(4) 表彰

- ①全参加チームのうち、合計点数の高かった上位3校には賞状を授与する。(優勝・準優勝・第3位)
4位以下には、敢闘賞を授与する。
- ②賞状は事務局で発行し、記名・授与は各校で行う。

5 その他

- ・参加する生徒の健康状況の確認を事前に行う。
- ・視覚・聴覚障がいのある生徒より参加申し込みがあった場合は、当該校より競技運営に助言、指導を受け実施する。



得点表示例

前半 (1～5 投)	後半 (6～10 投)	合計

【オンライン専門部】

青森県立青森第二高等養護学校

委員長 井 口 眞 吾

副委員長 木 村 讓

TEL 017-742-6624

FAX 017-742-6646

E-Mail 2020ases005@gmail.com